

【別紙1 デザイナー・新社服の紹介】

<デザイナー>



天津 憂(あまつ ゆう)

衣装デザイナーを経て単身 NY へ。Gen Art2006, 2007で2年連続グランプリ受賞。2010年に帰国後、株式会社212を設立、レディース、メンズともに展開。Mercedes-Benz Fashion Week TOKYOでDHL Award受賞。メンズファッション協会
でベストデビュタント賞受賞。2014年にハナエモリマニユスクリのチーフデザイナー就任。2016年 HANAE MORI のクリエイティブディレクター就任。第43回公募美術展「MAF展」で内閣総理大臣賞受賞。2019年G20 OSAKAで[KABUKI]の総合演出、ラグビーワールドカップオープニング衣装、オリンピック総合警備ユニフォーム監修。

【デザイナーからのコメント】

デザイン性、安全性は勿論のこと、個々のモチベーションがあがり、会社の顔になるような普遍的な社服を目指し、10年20年とながく愛されるように従業員の方々と共にデザインしました。

【社服を着用した社員の声】

どの社服も以前よりスリムな作りでフィット感があり、素材の伸縮性があるためかスムーズに動きやすくなった。冬服は暖かくて保温性にすぐれ、ポロシャツは通気性が高く着心地が良い。パンツのウエストを内側でアジャストでき、ポケットのサイズを大きくするなど、より機能的に進化した。